

【R 1 8】会話形式ノベル（台本仕様）

『保健室占拠～女子の身体測定中だった～』

作：七条右京

【主な登場人物】

- ・ ^{なかつ こと な}中津琴菜：保健室の先生（校長の娘）
- ・ ^{はらだ ゆい}原田由衣：担任の女教師
- ・ 横川：女子生徒1 ・ 大町：女子生徒2
- ・ 佐藤：女子生徒3 ・ 和田：女子生徒4
- ・ 下山・女子生徒5
- ・ 野口：男1 ・ 三石：男2
- ・ ^{なかつ こうたろう}中津光太郎：校長

裏金を専門に強奪する野口と三石。

今回のターゲットは、秀白学園。

この学園の校長である中津幸太郎とその娘の中津琴菜は、親子で不正経理をして裏金をたんまり貯め込んでいた。

この学園の保健室には隠し部屋があって、そこに金塊が隠されているという情報を手に入れた野口と三石。

この金塊を奪う為、その保健室に入るが、なんと女子の身体測定が行なわれている最中だった。

偶然の身体測定に、エロさ爆発の野口と三石。



ラストに謎のシーンが！

○保健室の前

空調点検業者になりすまして校内に侵入した野口と三石。

目出し帽をかぶり、モデルガンを手に持ち、保健室の扉を開ける。

女子生徒達から一斉に、「きゃあ〜」という悲鳴が。

なんと、2年3組女子の身体測定が行なわれている真っ最中だった。

横川（女子生徒）：

「きゃあ〜、なんで男」

「やだ、見ないでよ」

大町（女子生徒）：

「エッチ、出ててよ」

佐藤（女子生徒）：

「きゃあ～、やだエッチ」

和田（女子生徒）：

「きゃあ～、見ないでよ」

下山（女子生徒）：

「きゃあ～、やだ、やだ、やだ」

身体測定が終わった生徒から順に帰っていいので、現在保健室にいるのは、残った女子生徒5人と、担任の女教師、保健室の先生の7人がいる状態。

女子生徒達はパンイチの裸状態だった。

**女子生徒達は、みんな一斉に両腕をクロスして
胸を隠した。**

原田由衣（担任の女教師）：

「あなた方は、なんなんですか？」

「今、女子の身体測定の最中よ」

「まったく非常識ね」

「早く出て行きなさい」

三石：

「うるさい、静かにしろ！」

「これが見えないのか？」

モデルガンの銃口を向ける野口と三石。

野口：

「あっ、スマホは無駄だぞ」

**「妨害パルスをこの機械から発生させてるから、
なんにも操作出来ない様にしてある」**

三石：

「おとなしくしろ」

「分かったな」

**三石は女教師と女子生徒達に銃口を向け、野口
は琴菜の側に近寄る。**

野口：

「貴女が、校長の娘の中津琴菜さんだな」

中津琴菜：

「そうだけど、私に何か？」

野口：

「ちょっとおとなしくここに座ってて貰おうか」

**琴菜を椅子に座らせ、縄で拘束し、口枷をして
喋れなくした。**

琴菜：

「う～う、う～う、う～う」

野口：

「お嬢さん、ちょっと静かにしててくれ」

**「お前さんには、こっちの楽しみが終わってか
らだ」**

「それまで、じっとしてて貰おうか」

**琴菜を拘束した野口、三石と一緒に女教師と女
生徒たちに銃口を向ける。**

野口：

「悪いが、先生と生徒達も拘束させて貰うぞ」

野口、三石に目で合図をする。

由衣：

「ちょっと、痛いから、乱暴にしないでよ」

由衣を梱包テープで手足を拘束する三石。

三石：

「手を降ろして、おっぱい見せろ」

「早くしろ」